

ハンドボール No.17

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **山鹿-男34**

年月日 2019年8月6日(火)
 大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 県立小松工業高等学校										B 神戸国際大学附属高等学校												
都道府県 熊本県					市町村 山鹿市					会場 山鹿市総合体育館					回戦 3回戦							
前半		A	B	最終結果		A	B	第1延長		A	B	第2延長		A	B	7m追加コラット		A	B			
		13	18	29	37																	
7m得点/総数		A 3/3		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7m得点/総数										
				1	2	3				1	2	3										
				2126	1830	3				2658	1202	3										
No.	県立小松工業高等学校				G	W	2'	2'	D	DR	No.	神戸国際大学附属高等学校				G	W	2'	2'	D	DR	
1	宮城 修										1	西田 優琉										
2	C	下坂 真冬				1		1	1		2	C	池添 奏太				6					
3	北口 大輝				4	1					3	土佐 竜真				5						
4	新谷 凌央				7						4	田中 翔太										
5	朝倉 涼太				1	1					5	末廣 将己										
6	市川 湧				11						6	露無 優稀				2						
7	中川 祥希										7	植村 和輝				4						
8	源田 翼										8	外池 郭人										
9	松本 統生										9	荒瀬 廉				8						
10	田中 秀征				3						10	渡辺 大地										
11	仮屋 慎太郎										11	中村 権一				9	1					
12	小森 祐翔										12	上野 俊哉										
13	柴田 大輝				2						13	竹内 稜平				3						
14	松本 侑士										20	森 拓磨										
役員A	中谷 昌和										役員A	向井 勝二										
役員B	別所 健										役員B	市原 太基										
役員C	白岩 恭朋										役員C	高橋 裕稀										
役員D											役員D											

A	中谷昌和	チーム役員A署名	向井勝二	B
---	------	----------	------	---

レフェリー	前上里 亘	知念 昌平	前上里 亘	知念 昌平
TD	仲本 淳	牧 均	仲本 淳	牧 均
MO	比留間 康		比留間 康	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 19

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 6日 火曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	男子
回戦	3回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	小松工業	29	13-18	37	神戸国際
後半					
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>小松工業のスローオフで試合が始まった。開始直後流れるようなパス回しから10番田中のサイドシュートが決まる。対して神戸国際は、9番荒瀬と7番植村のコンビプレーですかさず得点を挙げる。小松工業がリードをすれば、神戸国際も連続得点を挙げ逆転をする一進一退の攻防を繰り広げる。しかし、前半15分過ぎから神戸国際3番土佐の速攻や9番荒瀬のカットインなどで得点を重ね小松工業との差を徐々に広げる。前半25分小松工業2番下坂の退場から神戸国際は、池添、中村、植村の3連続得点を挙げ、GK西田がポストシュートをナイスセーブし5点リードで前半を終える。</p>
後半	
<p>後半流れをつかみたい小松工業は、4番新谷のカットイン、ミドルシュートで差を縮めようとするが、チャンスでGK西田のナイスセーブに阻まれる。神戸国際は、後半15分過ぎ相手のミスから、中村、竹内、露無の3連取で7点差をつけ、小松工業はすかさずタイムアウトを取る。落ち着きを取り戻した小松工業は、朝倉のミドル、柴田のミドル、カットインの3連続得点で4点差まで詰めるが、下坂の退場で流れを失い、ラストスパートをかけた神戸国際が37-29で勝利した。</p>	

記入者	松本 悠汰
-----	-------